

ものづくり、CSR経営、健全なグループ管理を通じ、豊かな社会の発展に貢献します。

日本経済は、2008年度後半の米国金融不安から、世界経済が急速に悪化した影響で輸出が激減し、過去に経験したことのないような景気の落ち込みをみせました。当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、大幅な減産が行われました。また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連では、HDD（ハードディスク駆動装置）の生産が在庫調整により大きく落ち込みました。

世界経済は各国政府の景気対策などにより底を打ちつつありますが、回復にはしばらく時間がかかると考えられます。これより、輸出依存度の高い日本経済にとりましては、2009年度も厳しい環境が続くと予想されます。自動車関連では、在庫調整のための大幅な減産は落ち着くと考えられますが、販売の本格的な回復の遅れから、国内自動車生産台数は2008年度と比べ減少すると予想されます。また情報機器関連でも、HDDは景気動向に左右されやすい状況が続くと予想されます。

このように大変厳しい環境ではありますが、受注量に応じたフレキシブルな生産体制を確立するとともに、品質・コスト・技術面での優位性を高めて、次の飛躍に備える体質強化の機会と認識しております。そして、CSR活動の積極的な推進を方針に掲げ、コンプライアンスを根幹としたCSR経営を行います。ステークホルダーの皆様から信頼を得るために、社会貢献活動、地

球環境保全活動を推進するとともに、CSRに関する情報を積極的に発信します。また、グループリスク管理体制を充実し健全に運用してまいります。そして、これらの活動を通じて豊かな社会の発展に貢献していきたいと考えています。

この報告書を通じ、当社が果たすべき社会的責任について、私たちの考えと活動の一端をご理解いただきたくまとめさせていただきました。まだ不十分な内容ではありますが、今後の活動に向け、皆様におかれましては、一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



日本発条株式会社

代表取締役会長

代表取締役社長

佐々本 謙二 天本 武彦

私たちニッパツの従業員は、「社訓」の精神をもって、「企業理念」に則った事業活動を遂行します。

社 訓

躍進のニッパツ
根性のニッパツ
みんなのニッパツ

企 業 理 念

グローバルな視野に立ち
常に新しい考え方と行動で
企業の成長をめざすと共に
魅力ある企業集団の実現を通じて
豊かな社会の発展に貢献する

事業分野と主な製品



自動車分野

- 板ばね、コイルばね、スタビライザなどの懸架ばね
- シート／シート用機構部品／内装品
- 線ばね／薄板ばね／精密加工品
- ポリウレタン製品



情報通信分野

- HDD用サスペンション、機構部品
- 線ばね／薄板ばね
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- 精密加工品
- セラミック製品
- ろう付品
- 金属ベースプリント配線板
- ポリウレタン製品
- セキュリティ製品



産業・生活分野

- 駐車装置
- 配管支持装置
- ガススプリング
- ポリウレタン製品
- ばね機構品

外部からの評価

「横浜型地域貢献企業」に認定

この制度は、地域貢献の視点で雇用や環境などの活動に取り組んでいる横浜市に拠点を置く企業や事業体を、一定の基準（地域志向CSRマネジメント・システム規格）のもとに「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援するものです（▶P3）。



横浜型地域貢献企業認定マーク

Contents



トップコミットメント	1
ハイライト	3
特集:ニッパツのものづくり	5
社会性報告	13
CSRマネジメント	14
ステークホルダーへの姿勢	17
環境報告	24
環境マネジメント	25
環境パフォーマンス	32
環境データ	36
財務報告	49
関連会社概要	72
ニッパツ会社概要	74

編集方針

この報告書は、環境省発行「環境報告ガイドライン（2007年版）」を参考に作成しました。株主、投資家、お客様、サプライヤー、各事業所周辺の地域の方々、従業員とその家族などを対象としています。また昨年度から「CSR報告書」と「アニュアルレポート」を統合し、新たに「ニッパツレポート」として発行しています。社会性・環境報告に、経済性報告を加えて、一層の充実を図りました。

報告対象範囲

この報告書は、原則として2008年4月から2009年3月のニッパツグループの事業活動を対象としています。また発行が9月のため、大きな進捗については2009年4月以降の活動も掲載しています。